



# 創造

十月二十九日、三十日の両日、あしきた青少年の家で集団宿泊教室を行いました。参加したのは、本校の五年生四十六名。大野小(五名)と吉尾小(一名)の五年生とともに二日間を過ごしました。

テレビも見られない、ゲームもできない環境の中で、子どもたちがどんな時間の使い方をしているのか。寝具の整理は施設の規定どおりできるのか。班別行動の中で合意形成ができないとき、どうやって折り合いをつけるのか、私はとても興味がありました。

青少年の家のルールとして、「五分前行動」がありました。初めのうちは、浮ついた姿が目につきましたが、時間を追うごとに、自分の役割を果たそうとする態度や他者を思いやる言動が見られ、集団としてのまとまりができてきました。夜の「キャンドルのつどい」もとても厳かでした。キャンドルの火を見つめながら、今日のこと、みんなのこと、自分のことなどに思いを馳せました。

退所のつどいするとき、「みんながやさしくしてくれて、二日間とても楽しかったです。」と話した吉尾小の児童。この言葉に宿泊教室の成果が凝縮されていたように感じました。



みんなで力を合わせて



目と耳と心で『聴く』

## ～児童の感想～

心に余裕を持つために、5分前行動や相手に伝えるあいさつや返事をこれからも続けていきたいです。

マリン活動のペーロンで同じ班の人と力を合わせたら、どんどん進みました。協力することの意味がわかりました。

これから表現力をもっと高めていきたいです。自己表現することは、思いやりと友達づくりの第一歩だからです。

集団宿泊教室でしっかりと学んできたんだなあ。日記を読みながら感じました。息子の成長をたくさん誉めました。ありがとうございます。

## ～家庭より～

自分の役割を責任をもって行動し、果たすことが向上につながると思いました。

いろいろな活動をとおして、「集団宿泊のめあて」が僕自身では達成できました。事後に生かします。

学んだことを体育や運動会での集団行動につなげます。きびきびした運動会にしたいです。



# 各担任による学級紹介



3年生は、個性豊かな子どもたちが40名そろった楽しい学級です。自慢は、心優しい子どもたちが多いことと、毎日の「帰りの会」が盛り上がることです。「帰りの会」では一日の自分や学級を見つめる時間として、互いの良さや気づき等を積極的に発言しています。学級目標の「みんなが心地よく過ごす学級」の達成のため、学級の中で自分が何をしたいか考える子どもが増えました。主体的に活動するためには「やる気」が必要です。何でも向きにチャレンジさせて、それぞれの良さをかせていけたらといつも願って生活しています。

3年1組担任 塩森 理香



6年2組では、『時と場面を考えて行動！！やるべきことをしっかりやる！！』を学級目標に、毎日の授業に一生懸命に取り組み、休み時間は元気いっぱいに外で遊んでいます。授業では、自分の気持ちや考えを発表する楽しさに気が付き、積極的に発表する人が増えてきました。また、困っている人がいれば、そっと側にいき声をかけてくれる優しさを持った人もたくさんいます。あと5か月もすれば卒業となります。残された時間を子ども達と笑い合って、楽しい思い出をたくさん作っていたいと思います。

6年2組担任 奥添 敬悟

## 笑顔と感謝を届けよう 心を一つに全力で

11月28日(土)開催予定の「佐敷復興スポーツフェスタ」のスローガンが決まりました。さまざまな苦難を乗り越えた子どもたちの思いが詰まったスローガンを胸に、全力で頑張ります！



議論を重ねた代表委員会

